

はじめに

日産財団では、理科教育助成対象校の1年目の活動状況を把握するため学校訪問を実施しました。2014年度に訪問した学校の実践内容を、日産財団ニュースレター9-13号で紹介しました。

■ 神奈川県 秦野市立本町小学校

「ともせ！クリスマスイルミネーション」の公開研究授業で回路の勉強、手品のブラックボックスと巧みな話術が印象的



電線が長くて、ぐちゃぐちゃでも、輪になれば回路ができていれば点灯するを皆で確認



■ 福岡県 久留米市教育センター

中間報告会において、久留米市全体の理科教育が充実するために行った取組についての説明と、実験実習室の様子や理科備品の管理状況、日産財団の助成事業を使って新たに購入した備品の説明や見学



教育センターにおける取組の報告会の様子



理科備品貸出のための案内板

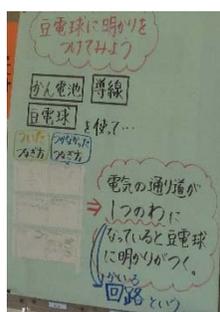


理科準備室にある備品が整理された棚

■ 神奈川県 横浜市立下郷小学校



「でんきのひみつをさぐる～電気の通り道」の公開研究授業



冷めると雪のように析出する塩化アンモニウムを溶質として、「ありのままの姿見せたり消したりするよ～水溶液の性質」の公開研究授業



■ 福島県 いわき市立湯本第二中学校



寒冷前線が通るとどのようなことが起きるかの模擬実践

日産財団主催「わくわくサイエンスナビ」に参加した後で作成した壁新聞も掲示



■ 福岡県 芦屋町立山鹿小学校



溶質をミョウバンとしたときの温度によるミョウバンの溶ける量を調べる校内研究授業、タブレットを使って、2つのグループを合体し、グラフを完成

